

令和3年1月8日

それでは、政府において、1月7日に首都圏1都3県を対象区域として緊急事態宣言が再び発出されたことをうけ、県としても先ほど本部員会議で対応を決定いたしましたので、県民の皆さんに呼びかけなどをさせていただきたいと思っております。

(資料を掲示) まず、三重県の感染の状況でありますけれども、ここにありますとおり1月5日、1月6日に過去1日あたり過去最多を更新をし、実は本日も40名を超える見込みとなっております、大変厳しい状況が続いています。そして、この感染状況の特徴としましては、年末の忘年会、親族の食事会といった飲食の場、あるいは帰省をされてきて発症をする、あるいはそのご家族に感染が拡大するなどがみられています。

今申し上げましたとおり、今日も40名を超える見込みということでありましてけれども、これはピークかどうか分からないです。まだまだ今後感染が拡大していくことが予想されます。そういう意味では、今後さらに爆発的な感染拡大を止めるためには、今が瀬戸際です。そして、第2波、第3波のときもそうだったんですけれども、7月や11月くらいですね。県外由来あるいは若い世代の感染、これの割合が高くなって、そして次に高齢者の方々とか県内というふうに広がって行って波が大きくなりました。今、この年末年始、県外由来、若い世代の感染、これが増えています。そういう意味では、また大きな波が来るかもしれません。この爆発的な感染拡大を止めるために、今が瀬戸際です。ぜひ、県民の皆さんのご協力をお願いしたいと思いますし、当然県としては、先ほど本部員会議でも申し上げましたが、必要な対策は躊躇なく行っていく覚悟であります。ぜひ、県民の皆さんのお力添えをお願いしたいと思います。

具体的に、県民の皆さんにお願いをしていくことの1つです。この特措法第24条9項、法律に基づく協力要請です。

1つは、この県内の感染の特徴にもありますとおり、大人数、長時間に及ぶ飲食は避けてください。2つ目は、緊急事態宣言対象都県、あるいは緊急事態宣言の対象になってないけれども、感染拡大防止の観点から営業時間が短縮されているエリア、そこへの移動は生活の維持に必要な場合を除いて避けてください。3点目は、医療機関、社会福祉施設ほか、クラスターが発生している施設について、あらためてガイドライン等に基づく感染防止対策の徹底や、従業員や利用者の皆様への注意喚起を強くお願いをします。

このような要請をさせていただきましたけれども、このまま感染者の増加が続く場合、期限を待たずに、昨日も申し上げましたけれども、さらに強い措置、飲食店の営業時間短縮や、あるいは夜間の外出自粛など、そういうことをお願いせざるを得ない可能性もありますので、そういうことにならないように、ぜひお力添えをお願いをしたいと思います。今回のお願いの期間は2月7日までであります。

また明日から3連休となります。3連休につきましては、成人式に参加を予定されている方、あるいは年末年始に予定していた帰省をずらして、この3連休に帰省をしようと考

えておられる方、そういう方もおられるでしょう。あらためてですけども、徹底した体調管理、そして帰省したり、あるいは成人式前後の懇親会など、大人数や長時間の飲食の場は避けてください。そして少しでも体調が悪い場合は、移動自体を避ける、または参加を避ける、そういうふうをお願いをしたいと思います。

そして先ほど対策本部でも報告させていただきましたが、1つは医療提供体制についてです。医療機関にこれ以上負荷がかかり、必要な方が必要な治療が受けられない状況にならないように、医療機関にご協力をいただいて、確保病床を増床しました。349から357。そしてさらに引き続き増床の努力をしていきます。そして、宿泊療養施設の積極活用、さらに自宅療養の併用、こういうことによって確実に療養をしっかりとさせていただく、命を守る、そういう形で医療提供体制を整えていきたいと考えています。また、最前線で頑張らせていただいている医療機関の皆さんに対する財政支援、これも行っていくこととしました。

私たちは、県民の皆さんの命だけではなく暮らしも守らなければいけません。その意味で、今回の緊急事態宣言の発出、あるいはGoToトラベルの一時停止の延長、そういうことにより多くの中小企業、小規模企業の皆さんに影響が出ます。その皆さんに対し、資金繰り、雇用、そういう面の支援ができるよう、緊急経済会合も開いて、速やかに対策を講じることができるよう検討してまいります。

そして最後、繰り返しになりますけれども、感染された方、そのご家族、勤務先、クラスターが発生している施設の職員や利用者、医療従事者やそのご家族、外国から帰国された方や日本に居住する外国人の方、県外在住の方に対する、偏見や差別につながる行為、人権侵害、誹謗中傷は絶対に行わないでください。

最後になりますけれども、今後も県としては、今後の爆発的な感染拡大を食い止めていくために必要な対策は躊躇なく行っていきます。

コロナで命を落としてしまう方や、あるいは身近に命を落としてしまう人がいて悲しんでしまう人、あるいはコロナに感染して症状に悩まされる方、コロナに感染してしまって勉強や仕事をやりたかったのにそれができなくてつらい思いをしている人、あるいは基礎疾患を自ら抱えていたり家族に高齢者の方がいて常々不安をもっている人。これ以上、こういう悲しい思いをする人や不安な思いをする人を増やしていきたくない、そう思っています。そして三重県民の皆さんには、いろいろお願いをさせていただいていますけども、皆さんの努力は必ず、これまでを見ても努力は必ず報われる、そう信じています。ぜひ、繰り返しになりますけれども、県も対策を躊躇なく講じてまいりますので、県民の皆様もこの瀬戸際においてのご協力、何卒よろしくお願いしたいと思います。

以上です。